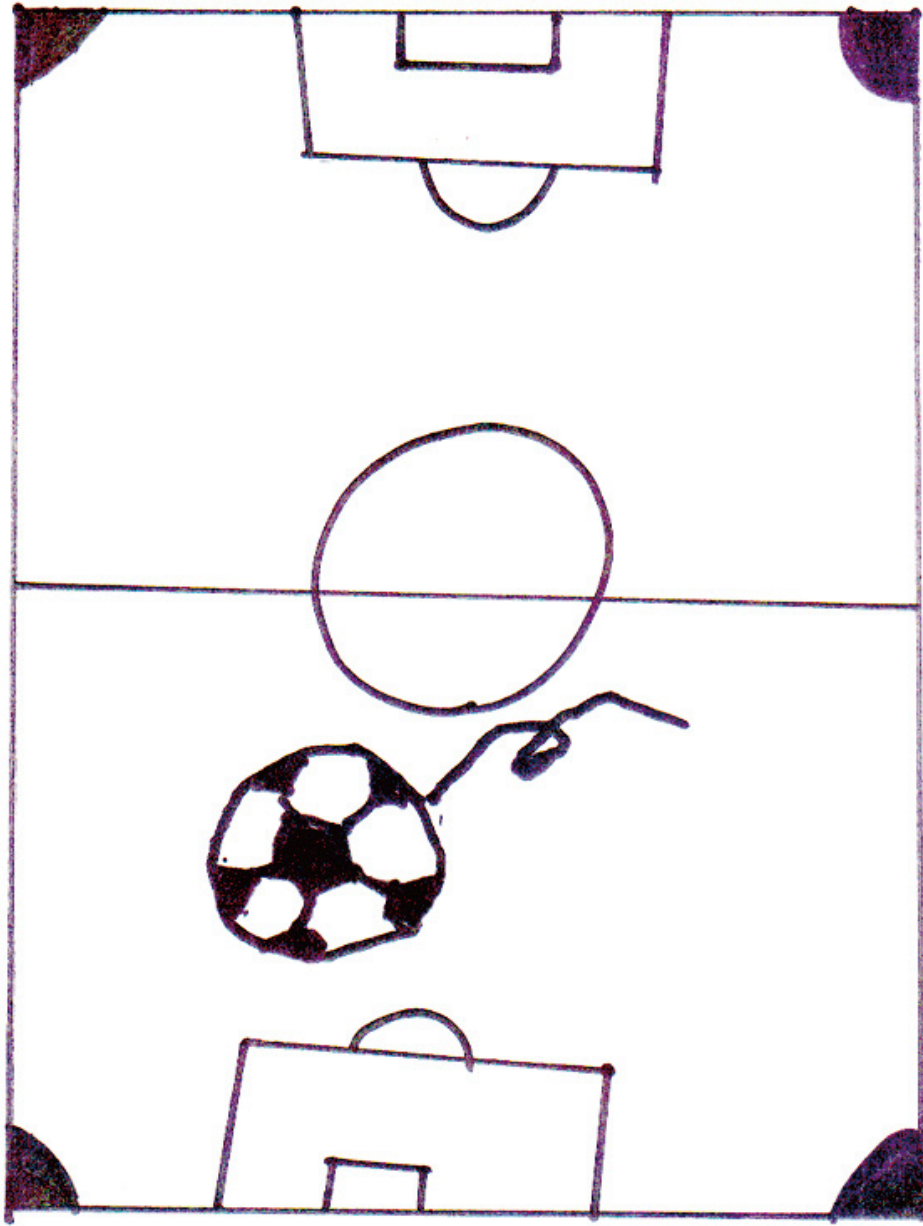


とよたち 3 がっ
美肌通信 vol. 116

な
な
な
な
な
な
な
な
な
な





March



今月号のとよたち美肌通信の
表紙は、大きなサッカー場で。

白熱した言試合が今にも始まり
そう！頑張れ～!!と応援
したくなります尸”

お絵かきや、工作が”好きで、
サッカーが得意な男の子が描いて
くださいました！ありがとうございます。

院長はじめスタッフ

一同バリエリ感謝
いたします。



私達一人一人には、この世に生を受けた瞬間から天が託してくれた「天真」という命題があるということ在先月早に書いた。これと通じる別の一角の人物が書き記したものがある。

哲学者 安岡正篤氏の言葉である。

人は誰でもそれぞれに天から与えられた素質能力がある。これを「命」という。

自分はどうな命を与えられているのか。

それを知ることが「知命」である。更に知ってそれらを実行していくのが「立命」であると言う。

つまり人は何のために生きるのか。

それは命を知り命を全うすることだという教えである。

では、「命を知り」ためにはどうすれば「良いか。日かな一日ぼーっとして、それを365日続けたとしても絶対に「知命」に遇うことはない。生きる中で感じた様々な思いをもとにして真実や真理を理解し追求し続けることだと思ふ。

別の言い方をすれば、自分が本当に感じたこと
や心を動かされたことから出発して、その意味
を考えていくことだと思ふ。

いつでも自分の本心の声を聞こうと努め、
自問自答していく中でしか「知命」には辿り着
けなないのである。

道に良い道、悪い道というのがある訣で
はない。その道をどの様に生きるかという、
その生き様によって良く見える道も悪くなっ
たり、悪く見える道も良くなったりするもの。
それと同時に悲しみや苦しみというフィルターを
通さないと神様が見せてくれない景色が
ある様に私には思える。

院長、拝